

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 令和7年度 吉城高等学校 学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和7年11月6日(木) 13:30~14:45
*14:50~15:30 学校設定科目「理数探究」授業参観

3 開催場所 吉城高等学校 会議室

4 参加者 (敬称略)	会長	沖畠 康子	地域代表 本校卒業生
	副会長	桐山 吉衛	地域代表 本校卒業生
	委員	石橋 祥二 小枝 憲一 牧田 美奈 西田 孝雄 早子 由美 オブザーバー 布俣 正也	NPO飛騨アカデミー 事務局長 本校同窓会副会長 R5本校育友会役員 本校育友会会長 本校育友会女性部長 岐阜県議会議員

学 校 側	野中 賀雄 下嶋 和長 田本 里美 井田 和実 野村 剛志 中川 敬子 河野 和代 近藤 恵子 水野 悠真	校長 教頭 事務長 教務主任 生徒指導主任 進路指導主任 特別活動部長 キャリア推進部長 理数科主任
-------	---	--

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価と各分掌の取組について

※各分掌長より前期の取組と学校評価の分析、後期の実践について説明。

学校評価アンケートをFormsで実施した。生徒、保護者とも全体的に大きく評価が下がった。

意見1:スクール・ポリシー等の生徒への周知について、アンケート項目の肯定的意見が低かった。このことは学校としては想定内だったか。

回答⇒クラスや学年単位でPRに力を入れたので想定外であった。学校として特に育てたい3つの力「見つける力」「伝える力」「解決する力」に集約して生徒に浸透させたいと考える。

意見2：教育目標とスクール・ポリシーはつながっているものである。双方ともにしっかりと周知し、生徒が何のためにその活動をするのかを理解し、どんな力がついたかを明確にすればより良いものになる。

意見3：文化祭は外部への吉城高校のPRという点においては有意義だったが、生徒たちが一般来場者への対応で忙しく楽しめなかつた印象がある。

回 答⇒生徒の事後アンケートを参考に改善したいと考えている。

意見4：2年生の企業見学はとても良い。民間企業就職者は少ないが、進学した生徒も将来Uターン就職することも視野に入れ、多くの企業に協力してもらえるとよい。

意見5：校則について、生徒からはどのような意見が出ているのか。私たちの時代は学校の言う通りにしてきたが、今の時代は生徒の意見を尊重し、生徒自身が自主的に考えられるような取組みが必要である。

回 答⇒4月に校則について考える授業を設定し、そこで生徒たちは自分たちの意見を共有した。生徒からは、本校では学校内でスマホ使用を制限しているのでスマホの自由化についてと、頭髪の規定が男女別項目になっていることについて時代にそぐわないのではないかという意見があがった。11月に縦割LHRで、全校生徒で話し合う機会を予定している。

意見6：保護者アンケートに見られるように、開かれた学校づくりに関する評価が高い。特に今年のことについて教員が様々な方面で努力をして工夫した結果である。必ず成果として出てくるものだと信じて頑張ってほしい。

意見7：大学や企業とタイアップすることは、活動が深まり宣伝効果も期待できる。教員だけでは限界があるのでぜひ連携を進めるとよい。例えば飛騨市は富山大学と包括連携協定を結んでいる。様々な研究者がいるので、ぜひ活用してほしい。

(2) 授業見学「理数科 理数探究」を終えて（意見）

理数探究テーマ

- | | |
|---|--|
| <input type="radio"/> 「もし人間が○○だったら」 | <input type="radio"/> 「バナナの皮は本当に滑るのか？」 |
| <input type="radio"/> 「植物発電でスマホを充電したい！」 | <input type="radio"/> 「カメムシ侵入防止大作戦」 |
| <input type="radio"/> 「バナナの皮からバイオエタノールを作ろう」 | |

意見1：多分野で様々な角度から斬新なアイデアで実験をしている。発表が楽しみである。

意見2：すばらしい探究活動を見学した。飛騨市や企業に対して研究の助成を依頼してもよいのではないか。

意見3：どの班も理解しやすい説明だった。委員から専門的な質問もあったが生徒は的確に応答していた。

意見4：どの探究活動も興味のわく内容で、2月の発表が楽しみである。せっかくなので新聞の全国版に掲載するよう依頼してみてはいかがか。飛騨市役所に相談するとよい。

意見5：どの班のプレゼンテーションも簡潔にまとめてあり、分かりやすい説明をした。一つの研究を極めることで、関連する分野の研究にも波及する連鎖反応が楽しみである。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会において、各分掌長から前期の取組と学校評価分析、及び後期の取組について説明した。また、理数探究の中間報告会を実施し、委員に各テーマのプレゼンテーションと質疑応答を行った。参加した委員から多くの助言や貴重な意見を得た。今後の教育活動に役立てたい。第3回学校運営協議会は、令和8年2月6日（金）吉城高校探究報告会後に開催する予定である。